

宮崎県中東部に位置する川南町では、南海トラフ地震または日向灘地震の発生時の津波被害想定をもとに、災害対策事業の一環として海岸沿いの地域に 2016 年度より避難誘導灯を設置。さらに 2020 年度より高台避難のための通路整備も開始。通浜地区につくられた避難通路階段には、灯具 3 灯の特注 LED ソーラーライトが避難誘導灯として備え付けられました。

宮崎平野の北部、日向灘に面した宮崎県川南町では、南海トラフおよび日向灘を震源とする巨大地震がひとたび起これば、5～13mの津波が地震発生からわずか16～20分で到達すると試算されています。町では海岸沿いの地域住民が迅速に、安全に避難できるように、防災訓練の実施などに力を入れるとともに、設備面では避難看板と避難誘導灯、さらには避難路の整備を進めています。



【物件概要】
所在地：宮崎県児湯郡川南町平田地区
施主：川南町
施工：(株)一色設備工業
完成：2020年7月



避難階段下から JR線をまたぐ道路橋の脇に避難経路を短絡する階段を設け、特注品の灯具3灯LEDソーラーライト①を設置。

避難路階段に設置するため、灯具3灯、大型パネル、大容量蓄電池のLEDソーラーライトを開発。

宮崎平野の北部に位置する川南町は、河岸段丘による丘陵地が海岸まで迫る地形となっており、段丘崖下の海沿いの地域では甚大な津波被害が想定されています。町では災害対策事業として2016年度より5か年間に津波避難誘導灯の設置を進め、独立電源式であるLEDソーラーライトを合計34台、避難経路となる道路に設置。また2020年度からは経路自体も見直し、避難路の整備にも取り組んでいます。

今回新たに避難誘導灯が設けられた場所は、川南港の南側にある通浜海浜公園と段丘崖に沿って走るJR日豊線の線路に囲まれた地区で、

従来の避難経路では指定避難場所まで一旦港側に迂回しなければならなかったため、JR線を跨ぐ架橋脇に新たに階段を設け、避難路をショートカット。そこに特注品のLEDソーラーライトを設置しました。

採用器具は太陽光パネル1枚で20W形蛍光ランプ器具相当の灯具3灯を点灯させる特注品で、パネル面積も大きく、バッテリー容量を2倍にしたLEDソーラーライト。14時間点灯タイプで、万一夜間被災時に迅速かつ安全な避難を導くだけでなく、日常的な防犯灯の役割も果たしています。



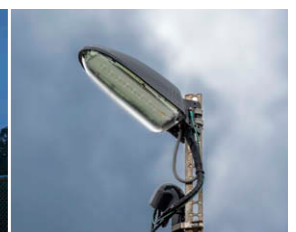
0.67㎡に大型化した太陽光パネルに60Ahバッテリー2台を内蔵したLEDソーラーライト電源部。



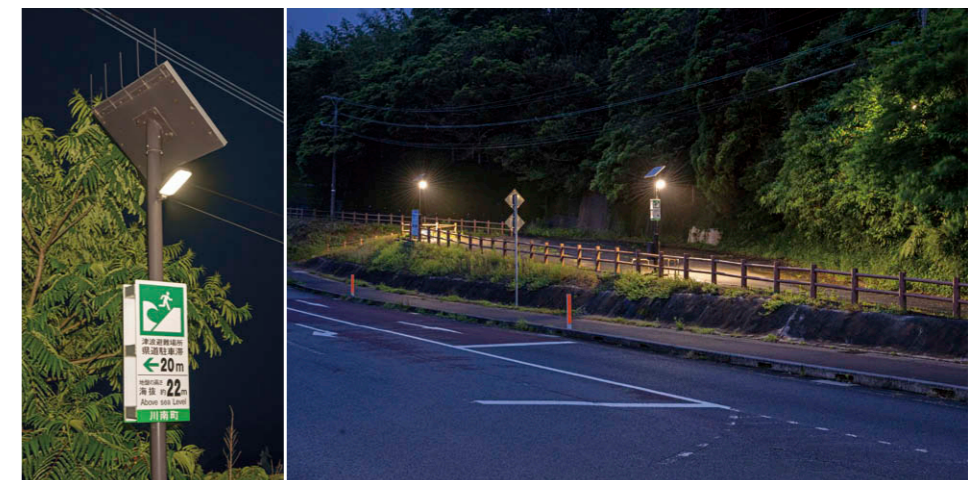
道路橋の上からの照明風景 LEDソーラーライトの避難誘導灯①が点灯した状態を橋上から望む。写真左側の道路向こうに川南港が、右側に通浜地区の住宅地が見え、その向こうに日向灘が横たわる。



避難階段出口側照明風景 3灯のうちの1灯を避難階段出口横に設置。



灯具 20W形蛍光ランプ器具相当の明るさの灯具を採用。



既設の津波避難誘導灯 左／避難経路に設置されたLEDソーラーライト(鉛蓄電池)と避難看板。右／新設された避難階段から約200m離れた高台上の指定避難場所には2台のLEDソーラーライトを設置。

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名(品種名)	形名	台数	備考
屋外	①LEDソーラーライト(鉛蓄電池)20W形蛍光ランプ器具相当14時間点灯タイプ(特注品)	SLK-09042-B(改)	1	消費電力:7.5W